



お客様の幸せづくり
たましん

多摩信用金庫

第19回

多摩ブルー・グリーン賞

表彰式

tama blue green prize



BLUE
&
GREEN

2021.12.6
in Palace Hotel tachikawa

第19回 多摩ブルー・グリーン賞表彰式

次 第

■日時:2021年12月6日(月) 午後3時00分から ■会場:パレスホテル立川 4階ローズルーム

開 式

主催者挨拶 多摩信用金庫 理事長 八木 敏郎

表彰状授与 多摩ブルー賞表彰

多摩グリーン賞表彰

特別賞表彰 技術・製品部門特別賞 経済産業省関東経済産業局長賞
経営部門特別賞 東京都産業労働局長賞

講 評 選考委員長 多摩大学 学長 寺島 実郎

来賓祝辞

閉 式

*受賞企業による写真撮影

以上

目 次

第19回 多摩ブルー・グリーン賞実施要項	1
第19回 多摩ブルー・グリーン賞選考講評	2

多摩ブルー賞(技術・製品部門) 受賞者

◎最優秀賞 株式会社 ティーフォース	3
未利用食品の有効活用のための農水産物の瞬間乾燥粉碎システムの開発	
◎優秀賞 株式会社 アイエムエス	4
見えない磁界を可視化する「3次元磁界ベクトル分布測定装置 MTX」	
◎優秀賞 株式会社 ウオールナット	5
地中探査ドローン(UAV-R)によるインフラ構造物調査	
◎多摩みらい賞 車いす工房 輪	6
好きな時に、好きな姿勢を。体を捻ることができる三次元姿勢変換車いす	
◎多摩みらい賞 株式会社 中央発明研究所	7
真空ダイカスト用高速遮断弁コントロールシステムの開発	
◎多摩みらい賞 日精産業株式会社	8
軽量樹脂製手術器具	
◎特別賞 東京電子株式会社	9
自動車用電子デバイスの信頼性を保証する高精度ガス分析装置の開発	

私たち多摩信用金庫は

たまの力を応援します



多摩信用金庫
理事長 八木 敏郎

多摩の地域経済の振興に寄与することを目的に実施しております「多摩ブルー・グリーン賞」は、おかげさまで2003年のスタートから19回目を迎えることができました。

本賞は、地域で活躍する中小企業の優れた技術や経営手腕を評価し、表彰することで、地域企業による技術開発や経営戦略創造の活力を生み出し、地域経済がより活性化されることを願い実施しています。

今回は、多摩ブルー賞と多摩グリーン賞合わせて261件と過去最多のご応募をいただき、第1回からの応募総数は延べ2,802件、受賞者は延べ226件となりました。これもひとえにこれまでご応募いただきました多くの方々、選考委員の方々、また、ご後援をいただきました支援機関の方々のお力によるものと心より感謝申し上げます。

今回の応募内容には、コロナ禍によってもたらされた経済・社会活動の急激な変化を、自社の技術・製品開発やビジネスモデルのさらなる成長・発展のチャンスとして結びつけ、将来のあるべき姿を目指して活動している事業が多くございました。これらのひとつひとつの事業から生み出される『新たな価値』は、多摩地域の豊かな暮らしと繁栄に大きく寄与するものと確信しています。

依然として、社会・経済環境は困難な状況が続いておりますが、多摩地域の明るい未来の実現に向けて、地域の価値を創造する表彰制度となるよう、皆さまとともに育っていきたく存じます。

今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

多摩グリーン賞（経営部門）受賞者

- 最優秀賞 株式会社 エムール 10
眠りで世界の人を元気にするEC経営力
- ◎ 優秀賞 株式会社 田邊商店 11
廃蛍光管の都内循環資源リサイクルモデルの構築
- ◎ 優秀賞／特別賞 株式会社 吉本製作所 12
日本品質とベトナム生産を融合させた新しい「モノ×コト」づくり
- ◎ 多摩みらい賞 有限会社 小沢製作所 13
オープンイノベーションで実現した町工場の脱下請けアウトドア製品開発
- ◎ 多摩みらい賞 弁護士 岩崎 紗矢佳 14
農業者への法的支援で農地と農業を守り、多摩の風土と風景を未来に繋ぐ
- ◎ 多摩みらい賞 有限会社 ボヌール・ナナ 15
コロナ禍はビジネスチャンス！創業30年の老舗パティスリーが
DXで地元立川から日本中を笑顔にします ～事業承継2代目社長の挑戦～
- 多摩ブルー・グリーン倶楽部紹介 16



第19回 多摩ブルー・グリーン賞実施要項

多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与することを目的に、
中小企業、団体または個人事業主の皆さまが開発した、
優れた「技術や製品」、新しい「ビジネスモデル」を通じて地域経済の発展に貢献した事業者を表彰します。

表彰内容・対象部門

多摩ブルー賞【技術・製品部門】

最優秀賞^[1件] …… 表彰状・盾 **副賞** 100万円

優秀賞^[数件] …… 表彰状・盾 **副賞** 50万円

優れた技術や製品等により地域経済の発展に貢献した、もしくは
貢献が見込まれる中小企業、団体または個人事業主を表彰します
(すでに発売もしくは実用化されているものを対象とします)。

多摩みらい賞^[数件] …… 表彰状・盾 **副賞** 10万円

第1次選考通過企業のうち、選考基準の総合評価が優良と認められ、
成長性・発展性などで特筆すべきことの評価が高い中小企業、
団体または個人事業主を表彰します。

多摩グリーン賞【経営部門】

最優秀賞^[1件] …… 表彰状・盾 **副賞** 100万円

優秀賞^[数件] …… 表彰状・盾 **副賞** 50万円

新しいビジネスモデルにより地域経済の発展に貢献した中小企業、
団体または個人事業主を表彰します。

多摩みらい賞^[数件] …… 表彰状・盾 **副賞** 10万円

第1次選考通過企業のうち、選考基準の総合評価が優良と認められ、
成長性・発展性などで特筆すべきことの評価が高い中小企業、
団体または個人事業主を表彰します。

特別賞

【技術・製品部門特別賞】

経済産業省関東経済産業局長賞^[1件] …… 表彰状

多摩ブルー賞第1次選考通過企業のうち、独自性・革新性などで特
筆すべきことの評価が最も高い中小企業、団体または個人事業主
を表彰します。

【経営部門特別賞】

東京都産業労働局長賞^[1件] …… 表彰状

多摩グリーン賞第1次選考通過企業のうち、独自性・革新性などで
特筆すべきことの評価が最も高い中小企業、団体または個人事業
主を表彰します。

※上記以外の特別賞を設ける場合がございます。

選考方法	学識経験者などで構成される選考委員会において厳正かつ公正に選考します。
選考基準	各部門の選考にあたっては、応募内容に関し、以下の選考基準の各項目を総合的に勘案して行います。 「独自性・革新性」、「市場性・収益性」、「成長性・発展性」、「社会性・地域性」
選考日程	応募期間 / 2021年 5月10日(月)～ 7月30日(金) 第1次選考 / 2021年 8月10日(火)～ …… 応募書類による選考 第2次選考 / 2021年10月13日(水) …… 第1次選考通過者によるプレゼンテーション選考 最終選考 / 2021年10月13日(水)～ …… 第2次選考の結果を踏まえ、各賞の該当者を選出
選考委員会	●選考委員長 / 寺島 実郎 多摩大学 学長 ●副選考委員長 / 市川 晴久 電気通信大学 名誉教授 特任教授 松本 祐一 多摩大学 教授 ●選考委員 / 門田 靖 経済産業省関東経済産業局 地域経済部 地域振興課長 牧野 晃浩 東京都産業労働局 商工部 創業支援課長 堀江 暁 (地独)東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ 総合支援課長 傳田 純 東京都商工会連合会 専務理事 楊 明 東京都立大学 教授 庭野 勉 (一社)東京都中小企業診断士協会 三多摩支部長 八城 守 東京中小企業投資育成(株) 業務第二部長 高橋 陽子 (公社)日本フィランソロピー協会 理事長 本谷 孝夫 日本弁理士会 関東会 東京委員会 副委員長(多摩部会長) 大野 英明 信金中央金庫 地域・中小企業研究所長 馬場 貴成 (株)日立製作所 テクノロジーイノベーション統括本部 企画室長 長尾 真輔 毎日新聞 多摩総局長

[順不同]

株式会社 ティーフォース

未利用食品の有効活用のための
農水産物の瞬間乾燥粉碎システムの開発

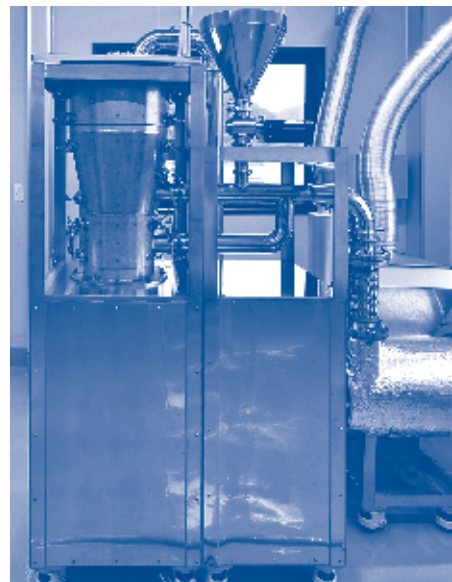
野菜や果物の乾燥粉末を製造するためには、一般的には乾燥工程と粉碎工程に分けて処理する必要があり、乾燥に長時間を要するためにポリフェノール、カロテノイド等のフィトケミカルの熱劣化が起り、野菜本来の機能が損なわれます。

これに対して、瞬間乾燥粉碎では熱劣化のない野菜粉末が製造できることが明らかになり、独自の高速気流式乾燥粉碎機(ターボドライヤー)を自社開発し、2019年より販売開始しました。

ターボドライは熱履歴による成分劣化の少ない高機能性粉末食品が製造可能という特徴に加えて、設備がコンパクトでメンテナンス性に優れ、少量多品種生産に対応できるように設計しましたことで健康食品の製造、食品メーカーの製造合理化に有効な手段となるばかりでなく、食品ロスの低減対策、特に生産者側で発生する未利用農水産物の活用に極めて有用であると考えています。

未利用農水産物の有効利用のためには、単に装置販売に留まらず製造システム構築のための技術サポート、

粉末加工場のネットワーク化、粉末製品販売網の構築が必要不可欠であり、他社や地域と協力して取り組まなければならないので、現在、九州ベジパウダー(株)を中心としたターボドライネットワークを全国展開とすべく取り組みを広げているところです。



会社概要

代表取締役	坂田 康二
本社所在地	〒181-0002 東京都三鷹市牟礼4-20-19
業務内容	食品機械製造、技術コンサルタント
資本金	200万円
沿革	創業 平成22年
主な販売・受注先	九州ベジパウダー(株)、栄新薬(株)、ユニカ食品(株)
従業員数	正社員:1名 平均年齢:67歳

連絡先

担当者	坂田 康二
URL	https://t-fourth.com
E-mail	kjsakata@t-fourth.com
TEL / FAX	0422-26-5388 / 0422-44-8949

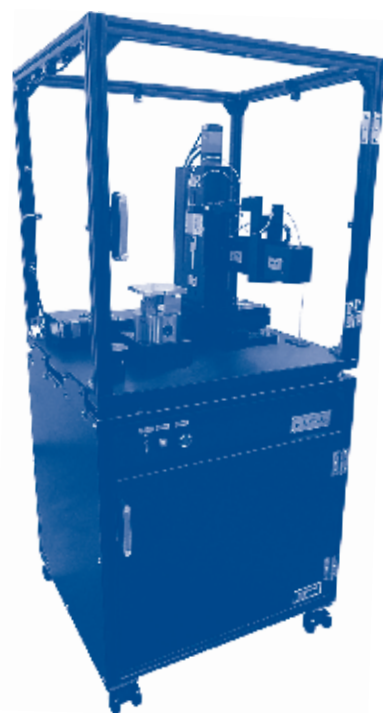
株式会社 アイエムエス

見えない磁界を可視化する
「3次元磁界ベクトル分布測定装置 MTX」

私たちの社会は磁界を利用した製品であふれかえっています。エアコンや洗濯機等の家電から、パソコンやスマホ等の情報機器、車や電車などに加え、電気を生み出す発電機も全て磁界を利用しています。「3次元磁界ベクトル分布測定装置 MTX」は、現代の快適な暮らしを根底から支えている「磁界」を正確に映し出す測定器です。

磁気は、強さと方向をもつ「ベクトル」です。しかし、従来の測定器には磁気をベクトルとして正確に測定できるものがありませんでした。MTXはこの問題を、1つのセンサで3方向の磁界を検出可能な「1チップ3軸磁気センサ」を搭載することで解決しました。また、従来目視でセンサの位置調整をしていたため、どうしても位置ズレや角度ズレが発生してしまい、再現性が低く、信頼性に乏しい結果しか得られませんでした。MTXは、特許技術により自動でセンサの「位置」と「角度」を正確に合わせることを可能とし、他に類のない精度と再現性を実現いたしました。

磁界を高精度に計測できることは、半ば手探りで行っていた製品開発を、綿密な数値解析の基に行えることを意味します。より高効率な電化製品を生み出しエネルギー消費量を削減する、EV・HEVの発展によって脱炭素社会を加速させる。そのどちらにも、より高度な磁界の利用・制御技術が必要です。MTXはその技術開発を支える重要なツールとして、社会に貢献してまいります。



会社概要

代表取締役	吉野 隆之
本社所在地	〒192-0906 東京都八王子市北野町522-3
業務内容	磁気関連製品の設計・製作・販売
資本金	1,000万円
沿革	創業 平成2年
主な販売・受注先	(株)安川電機、パナソニック(株)、三菱電機(株)
従業員数	正社員:7名 平均年齢:38歳

連絡先

担当者	営業 渡辺 亮
URL	https://www.ims-jp.com
E-mail	watanabe@ims-jp.com
TEL / FAX	042-643-6261 / 042-643-0280

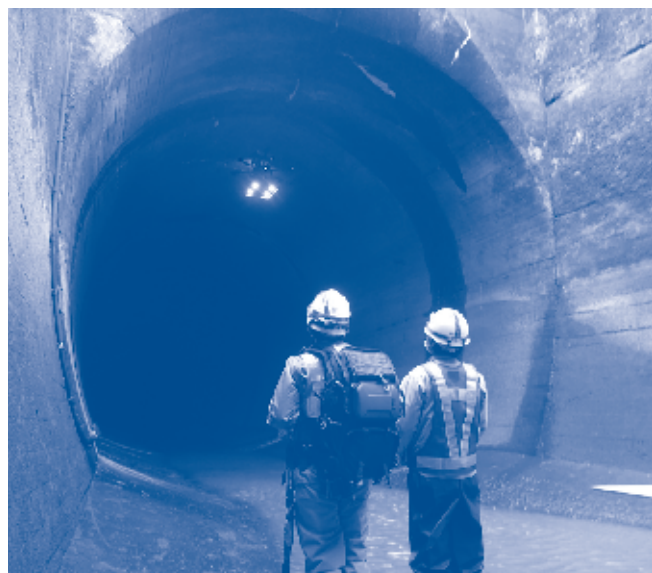
株式会社 ウォールナット

地中探査ドローン(UAV-R)による インフラ構造物調査

昨今、老朽化が問題となっているトンネルや橋梁では、コンクリートの厚み不足やその背面に存在する空洞を原因とする崩落事故、施工不良による鉄筋不足や腐食による耐力低下を起因とする事故が懸念されています。これらは目視による調査では確認できないため、インフラ構造物内部を非破壊で調査する手法として地中レーダによる探査が行われています。従来、これらの機器を用いて人力により調査を行っていますが、対象施設は高所や人の立入が困難な場所に設置されていることが多く危険が伴う他、調査実施には高所作業車の準備、仮設足場の設置などが必要になりコスト高となっていました。

そこで、当社はケーブルレス化した地中レーダをドローンに搭載した地中探査ドローン(UAV-R)を開発しました。これまで必要としていた仮設準備が不要となり、作業の省人化・効率化が図れ、安全を確保しつつ、コスト削減にも成功しました。また、AIやIoTとの組み合わせにより、さらなるコスト削減と生産性の向上が期

待されます。「社会生活の安全を守る」という経営理念のもと、斬新な発想と創意工夫の機動力によって付加価値の高いサービスを持続的に提供してまいります。



会社概要

代表取締役	齋藤 豊
本社所在地	〒190-0002 東京都立川市幸町1-19-13
業務内容	社会インフラの調査診断および調査機器の研究開発
資本金	3,000万円
沿革	創業 平成5年
主な販売・受注先	東京都、東日本旅客鉄道(株)、中部電力(株)、 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 等
従業員数	正社員:27名(パート・アルバイト:15名) 平均年齢:41歳

連絡先

担当者	企画営業グループ 笠原 翔
URL	https://www.walnut.co.jp
E-mail	e_g@walnut.co.jp
TEL / FAX	042-537-3838 / 042-537-3820

車いす工房 輪

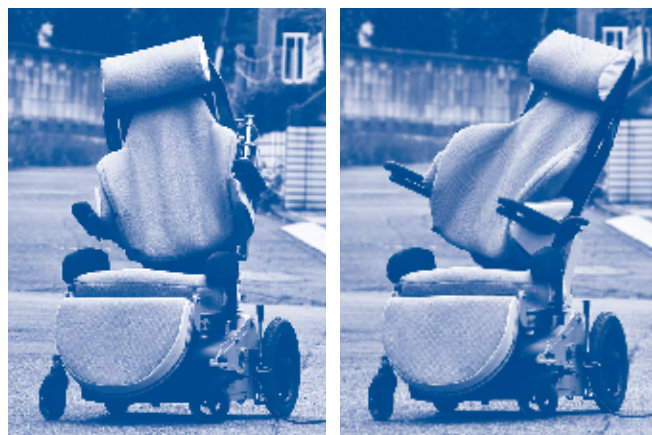
好きな時に、好きな姿勢を。 体を捻ることができる三次元姿勢変換車いす

生まれてから、一度も自分で姿勢を変えたことのない状況を想像してみてください。誰でも、いつそのような状態になるかは分かりません。

弊所は電動車いす専門工房です。さまざまな障害に合わせて一台一台電動車いすをカスタムし、ユーザーに適合させてきました。多くの障がいを持つ方は体が変形しています。背中が痛い、腰が痛い、悩みが多いです。姿勢を自由に変える行為は、本来人に備わっている根源的な欲求です。これに応えるため本製品を開発しました。車いすに体を合わせるのではなく、体に合わせて車いすが動きます。三次元姿勢変換車いすは世界唯一、左右非対称性に背もたれが動く機能を持ちます。無限の組み合わせで自分の取りたい姿勢をとることが可能です。また、アクチュエーターを内蔵し位置をメモリすることで、姿勢の記録、再現が行えます。コロナ禍でリハビリの通院機会が減っています。セラピストが設定した姿勢を自宅で再現することが可能になります。

需要は多いですが、現在公費での支給事例は2例しかありません。他は自費負担での導入となっています。必要な方に公費支給していただけるよう、行政、業界団体に働きかけを行っていきます。

これからも1人でも多くの「できる」を増やすため、多くの方に本製品を知っていただき、姿勢の自由を希望する方に届けていきたいと思えます。



会社概要

代表	浅見 一志
本社所在地	〒189-0022 東京都東村山市野口町2-18-5
業務内容	製造、小売
資本金	—
沿革	創業 平成19年
主な販売・受注先	ペルモビール(株)、昭和貿易(株)、(株)今仙技術研究所、サンライズメディカルジャパン(株)
従業員数	正社員:3名(パート・アルバイト:3名) 平均年齢:40歳

連絡先

担当者	浅見 一志
URL	https://koborin.com
E-mail	web@koborin.com
TEL / FAX	042-391-3328 / 042-403-0941

株式会社 中央発明研究所

真空ダイカスト用 高速遮断弁コントロールシステムの開発

金属の部品成形方法として、あらかじめ金型内部を真空ポンプで吸引し、溶湯を注入する真空ダイカストという手法があります。

この方式では、金型と真空ポンプの間にある真空バルブ（遮断弁）を閉じるタイミングが重要です。早いと残留ガスを溶湯が巻き込み、鑄巣を形成してしまいが、遅いと遮断弁等に溶湯が吸引され、固着し、設備不良を起こす原因になります。

対策のため、金型内部に溶湯センサを設けた高速遮断弁が開発されましたが、以下の様な改善が求められました。

(a) 遮断弁応答速度の短縮化

- ・溶湯センサから遮断弁までの距離の短縮対応。

(b) チャージ時間の短縮

- ・生産ロスタイム低減のため時間の短縮対応。

(c) コントロールユニットの小型化

- ・ダイカストマシン周辺部の省スペース化対応。

弊社ではこの対応のため、制御部品をすべてマイコン化した専用のコントローラーを開発し、制御システムに

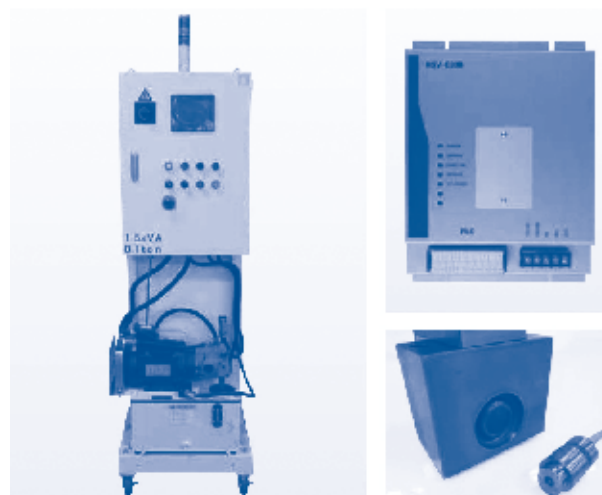
組み込み、

a) 応答速度は0.007秒から世界最速の0.004秒へ短縮

b) チャージ時間は80秒から20秒への短縮

c) コントロールユニットは、容積比で約1/7の大幅な小型化

を、達成し、幅広いユーザーの希望に応えることが出来ました。



高速遮断弁コントロールユニット

会社概要

代表取締役社長	曾我 夏人
本社所在地	〒190-1201 東京都西多摩郡瑞穂町二本木539
業務内容	含浸及び真空に関する研究開発及び製造販売並びに、受託含浸加工
資本金	3,000万円
沿革	創業 昭和44年
主な販売・受注先	日産自動車(株)、本田技研工業(株)、ヤマハ発動機(株)
従業員数	正社員:60名(パート・アルバイト:5名) 平均年齢:45歳

連絡先

担当者	技術部 清水 隆夫
URL	http://www.chuhatsu.co.jp/index.html
E-mail	shimizu@chuhatsu.co.jp
TEL / FAX	042-557-4901 / 042-557-3910

日精産業株式会社

軽量樹脂製手術器具

弊社は、1977年創業です。プラスチック成形業として高機能樹脂を使用した電子部品、開封器、電車の部品などを生産しています。これら高機能樹脂をメーカーと共に開発して、電子部品などを生産してきた技術の蓄積が弊社の礎です。

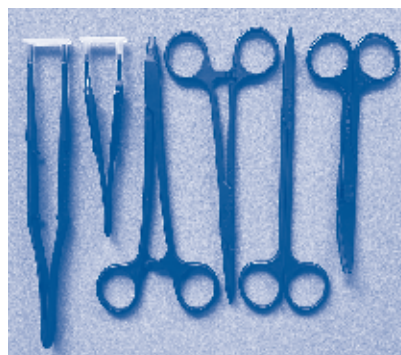
炭素繊維強化樹脂(CFRP)手術器具のキーワードは「軽量」です。金属並みの強度を保持しながらステンレス製と比較して1/3から1/4の軽量化を実現しています。その恩恵は、大規模災害等が発生した際にドローンによる大量輸送の具体化を促し、緊急医療体制や今後も高まるであろう社会要求に貢献することができます。

機能として、まず交通系カード等でお馴染みのICチップ(RFID)を内蔵して一体成形をいたしました(特許出願中)。これは、医療機器固有識別の一つの方向性として今後の普及を加速する技術と位置付けています。さらに、この炭素繊維強化樹脂には導電性があり、電気メスの高周波加熱を利用して、手術中に止血や凝固などを

することができます。

また、炭素繊維強化樹脂は非磁性であり映像に影響を与えないため、CT・MRIやレントゲン環境下でもこの樹脂製手術器具を使用することができます(金属アーチファクト)。

高圧蒸気滅菌、電子線滅菌、酸化エチレンガス滅菌等の繰り返し、あるいは長期間の保管による強度の劣化も極めて少ないので新たなカテゴリーでの需要開拓を進めています。



会社概要

代表取締役	古屋 儒英
本社所在地	〒185-0034 東京都国分寺市光町2-17-6
業務内容	プラスチック成形業
資本金	2,000万円
沿革	創業 昭和52年
主な販売・受注先	医療機器販売会社、病院 等
従業員数	正社員：7名(パート・アルバイト：5名) 平均年齢：41歳

連絡先

担当者	古屋 儒英
URL	http://nissei-ind.co.jp
E-mail	info@nissei-ind.co.jp
TEL / FAX	0428-30-0777 / 0428-30-0700

東京電子株式会社

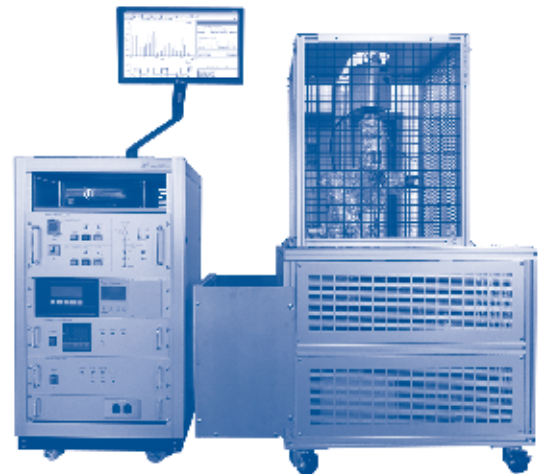
自動車用電子デバイスの信頼性を保証する 高精度ガス分析装置の開発

自動車の自動運転化が進み、それを司る車載用電子デバイスの役割が非常に重要になっています。本内容は車載用電子デバイスあるいは半導体などの封止デバイスの信頼性を保証するための漏れ（リーク）検査・ガス分析についての技術です。封止デバイスの内部に気体が混入すると、劣化の原因となり信頼性は著しく損なわれます。自動車メーカーは品質保証の重要な値として、デバイスの破壊検査時のリーク量を規定しておりますが、それはE-15Pa・m³/sec(He)という極微小なリーク量です。極微小リークの検出には極高真空技術が必要となります。

従来技術では装置の構造材として熱特性が悪いステンレス鋼を使用していましたが、その構造材からのガス放出が問題となり極微小リークの検出は不可能とされておりました。当社では構造材をステンレス鋼から低ガス放出のベリリウム銅合金を分析系に採用することで“完全封止ガス分析法”の技術を用いた“破壊分析装置”を製品化しました。これにより、極微小リーク領域であるE-15Pa・m³/sec(He)以下の検証が可能と

なった上に、通常6ヶ月程度の期間が必要とされていた性能検証を1～2日間に短縮することを実現しました。現時点で先の値の検出を実現できているのは当社の製品のみです。

自動運転がもたらすモビリティ社会、新たな価値を創造するDX、当社のテクノロジーが先進的な社会を支えるために貢献しています。



会社概要

代表取締役社長	黒岩 雅英
本社所在地	〒185-0012 東京都国分寺市本町2-22-7
業務内容	真空計、質量分析計、真空機器、分析装置、及び電源装置の設計・製造・販売
資本金	3,000万円
沿革	創業 昭和28年
主な販売・受注先	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、(株)アルバック、(株)MKエレクトロニクス
従業員数	正社員：14名（パート・アルバイト：4名） 平均年齢：51歳

連絡先

担当者	黒岩 雅英
URL	https://toel.co.jp
E-mail	kuroiwa@toel.co.jp
TEL / FAX	042-329-5090 / 042-329-5091

株式会社 エムール

眠りで世界の人を元気にするEC経営力

日本が睡眠劣化国と言われ、睡眠負債というワードが流行語になる一方、100歳時代・健康経営・医療費の課題など、長く健康に過ごす重要性は高まっています。その中で弊社は、2006年に「眠りで世界の人を元気にする」というビジョンで誕生し、現在では睡眠改善に重要であると言われている2つの要素「睡眠環境」と「睡眠生活習慣」両方を提供する睡眠改善企業になりました。

【1】睡眠環境：創業期より、商品企画から販売まで1社で一貫し、顧客の声を直接入手し反映するD2Cモデルを採用しています。常時、2千種類に及ぶ高付加価値の寝具・家具を複数のECサイトで効率的に販売することで高い利益率を保持しながら、新たな価値提案のための商品開発に投資するという循環で成長を続けています。また、国内にとどまらずアメリカ・カナダへも販路を広げ、日本の眠る・寛ぐ文化を発信しています。

【2】睡眠生活習慣：企業の従業員を対象とした様々な睡眠改善プログラムを開発、提供しています。近年では、睡眠をテーマとした新規事業開発を様々なアライアンスパートナーと共に推進しています。各自自治体との取り組みも始まり、一般市民の方にも広がっております。

睡眠改善の実現は、社会的にも経済的にも大変重要なテーマです。今後も環境と習慣両面から着実に事業を推進してまいります。



会社概要

代表取締役	高橋 幸司
本社所在地	〒190-0012 東京都立川市曙町1-25-12 オリピック曙町ビル9F
業務内容	寝具家具インテリアの企画開発・販売、睡眠改善サービスの企画開発・提供
資本金	4,500万円
沿革	創業 平成18年
主な販売・受注先	楽天グループ(株)、ヤフー(株)、アマゾンジャパン(同)
従業員数	正社員:18名(パート・アルバイト:17名) 平均年齢:29歳

連絡先

担当者	経営企画室 沢田 裕
URL	https://emoor.co.jp
E-mail	y.sawada@emoor.co.jp
TEL / FAX	042-595-6251 / 042-595-6253

株式会社 田邊商店

廃蛍光管の 都内循環資源リサイクルモデルの構築

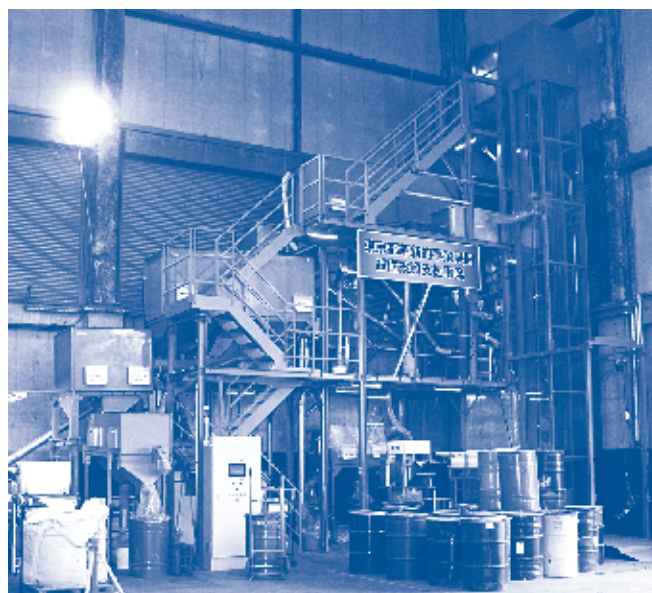
地球温暖化や異常気象などからSDGs・ESG投資などの重要性が認識され、持続可能な社会形成に対する取り組みが迫られる中、特にリサイクルや廃棄物処理の分野は、ますます強化が求められています。その中で当社では、従来、他県などへ多額のコストをかけて長距離輸送されたのち最終処分されていた都内の「廃蛍光管」に対して、国立市にある当社リサイクルプラザに廃蛍光管リサイクルプラントを導入し、排出された廃蛍光管を都内で資源循環リサイクルする「自区内処理（※自分の地域で出したゴミは、自分の地域で処理する）モデル」を構築しました。

本プラントは廃蛍光管を資源（ガラス・プラ・金属）に分別、さらに「破碎」「口金分別」「乾式洗浄」という各工程において、人体に有害となりうる「水銀」を含有する「蛍光粉」を分別、真空加熱の横型ミキサーキルンで水銀を蒸留回収できる革新的なものであり、都内唯一の廃蛍光管100%リサイクルを実現するものです。

従来の長距離輸送を前提とした大規模集中処理を、当社では「収集」「破碎」「分別」「処分」までを行う垂直統合

一貫プロセスとし、都内で収集からリサイクルまでを完結する今までにないビジネスモデルであります。

今後もリサイクルを通じて、高まる「環境への配慮」「資源の利活用」「安全・安心」といった社会的課題の解決に貢献していきます。



会社概要

代表取締役	田邊 力
本社所在地	〒190-0033 東京都立川市一番町5-5-1
業務内容	廃棄物処理業
資本金	1,000万円
沿革	創業 昭和37年
主な販売・受注先	立川市
従業員数	正社員：48名（パート・アルバイト：10名） 平均年齢：47歳

連絡先

担当者	営業部 中澤 早苗
URL	http://www.ts-gp.co.jp
E-mail	nakazawa@ts-gp.co.jp
TEL / FAX	042-520-0075 / 042-843-6070

株式会社 吉本製作所

日本品質とベトナム生産を融合させた 新しい「モノ×コト」づくり

当社は、青梅市で創業50年になる製造業の会社です。次の50年を見据えた新しいビジネスモデルを提案します。

①モノづくりの再定義:モノづくり企業として、良い製品を造ることに心血を注いできました。しかし、リーマンショックや大震災などで造るべき製品が減る中、完成した製品だけでなく、製品を造るプロセスにも価値があると気付きました。②ベトナムでのコトづくり:ベトナムでは私達が造るのではなく、独自に選定したローカル企業に、製造方法や検査基準といったモノづくりプロセスを注入し、彼らの工場で彼らが造ります。私達が持つ知識と経験からサポートすることで、ローカル企業のベトナム品質を吉本品質へ転換することを「コトづくり」と呼びます。③広がるネットワーク:視察した企業は200社を超え、取引サプライヤーは40社以上になります。現地に自社工場を持たないスタイルは、高い拡張性と幅広い対応力を合わせ持つネットワークとなり、取引工場は増え続けています。

今後はベトナムを起点にASEAN全域に広がっていきます。また、不安の多い海外取引において、日本のモノづくり企業が窓口になりアフターフォローも日本の工場が担うことは顧客に安心感を与えています。

日本のモノづくりと、ベトナムサプライヤーをネットワーク化し支援するコトづくりとで、日本と海外、モノとコトが共存共栄していく「モノ×コト」づくりというビジネスモデルを確立しました。



会社概要

代表取締役社長	吉本 誠
本社所在地	〒198-0023 東京都青梅市今井3-9-17
業務内容	金属加工、精密機械部品製造
資本金	1,600万円
沿革	創業 昭和47年
主な販売・受注先	(株)ワイエイシイデンコー、(株)東京精密、コニカミノルタ(株)、富士電機(株)、日本電子(株)、ファナック(株)等
従業員数	正社員:20名(パート・アルバイト:4名) 平均年齢:40歳

連絡先

担当者	営業部 関塚 淳
URL	http://yoshimoto-fc.co.jp
E-mail	info@yoshimoto-fc.co.jp
TEL / FAX	0428-32-0177 / 0428-32-1271

有限会社 小沢製作所

オープンイノベーションで実現した 町工場の脱下請けアウトドア製品開発

町工場の生産力と地域の資源を生かして、「もの」と「こと」の両面から地域を活性化します。

私たちは、産業用機械部品の製造を行っている町工場です。下請け部品製造業が先細りしていく中、生き残りをかける手段として、私たちは八王子の自然資源やその自然を生かそうとする人たちの力を借りアウトドア自社製品の開発・販売を始めました。町工場がB2C製品を生み出し、ユーザーに届けるにはさまざまな障壁がありました。そこで閉ざされがちな町工場のことを発信・共有し多くの八王子の企業・団体と繋がることで自社に足りないリソースを補ってもらい、販売にたどり着くことができました。

私たちが生み出す「もの」と、地域の人々が展開している「こと」。この両輪で、八王子の自然資源をより気軽に楽しめるように展開していきます。製品開発の過程をSNSを通じて「町工場の挑戦ストーリー」として発信し続けています。これにより全国の仲間、そしてフォロワー

の醸成も行っています。「1社だけでは難しいことを、発信・共有・共感を得ることで達成する」。これが私たち町工場が実現したオープンイノベーションです。

これからも、地域の自然資源と仲間たちと共に、もっと気軽に、もっと楽しく外遊びができる製品を生み出していきます。



会社概要

代表取締役社長	小沢 達史
本社所在地	〒192-0152 東京都八王子市美山町2161-6
業務内容	精密板金部品製造、アウトドア製品開発・製造・販売
資本金	4,940万円
沿革	創業 昭和41年
主な販売・受注先	(株)萩原製作所
従業員数	正社員：12名(パート・アルバイト：4名) 平均年齢：48歳

連絡先

担当者	小沢 達史
URL	http://www.ozawass.co.jp
E-mail	tatsufumi_ozawa@ozawass.co.jp
TEL / FAX	042-650-7360 / 042-650-7370

弁護士 岩崎 紗矢佳

農業者への法的支援で農地と農業を守り、 多摩の風土と風景を未来に繋ぐ

いま、農業を取り巻く環境や価値観は、大きな転換期にあります。農業は「家業」から「事業」「職業」へ、農地は「家産」から「経営資産」「地域資源」へと捉え方が変わってきています。「後継者不足」とのイメージが強い農業も、東京では、就農したいという若者が増え、逆に「農地不足」になっています。

このような転換期において、農地を抱える農家・農業者の相続や、第三者承継を含む農業の事業承継、中小事業者としての農業者のサポート（新規ビジネスのリーガルチェックや契約書作成等）など、農地・農業への法的支援をしています。従来は法規制が厳しく「(事実上)農地は貸せない」というのが常識でした。しかし、近年法改正が続き、遂には平成30年に「都市農地貸借円滑化法」が施行され、住宅街等にある農地（生産緑地）も貸すことができるようになりました。

農地を耕して守っていくのは農業者です。しかし、思いだけでは農地は残せません。法律問題を解決し、農地を確保するのは弁護士の役割だと考えています。農地は、

私たちが生まれる前から存在し、この世を去った後も存在し続けます。100年前に先祖が見た風景を100年後の子孫にも見せられるのが農地です。一人ひとりのお客様、そして、農地と向き合い、農地と農業を将来の多摩地域に繋いでいきたいと思えます。



会社概要

弁 護 士	岩崎 紗矢佳
本 社 所 在 地	〒190-0012 東京都立川市曙町2-34-13 オリピック第3ビル701号室岡野法律事務所内
業 務 内 容	弁護士業（農地・農業に関する法的支援、中小事業者・個人に対する法的支援）
資 本 金	—
沿 革	創業 平成26年
主な販売・受注先	農業者、農業関係団体・農業支援者、中小事業者、中小企業支援団体、個人
従 業 員 数	—

連絡先

担 当 者	岩崎 紗矢佳
U R L	https://okano-lawfirm.jp
E - m a i l	上記URLお問合せページより
T E L / F A X	042-548-4805 / 042-548-4806

有限会社 ボヌール・ナナ

コロナ禍はビジネスチャンス！ 創業30年の老舗パティスリーが
DXで地元立川から日本中を笑顔にします
～事業承継2代目社長の挑戦～

『人々の心を豊かにする為に一つのお菓子から生まれるストーリー、ひとりのお客様、五感が震える体験を大切に、提供します』という経営理念を体現すべく、ECというプラットフォームでこだわりの洋菓子を全国のお客様へお届けしております。

創業30年の老舗パティスリーを2018年10月に継いだ現代表は大手ECサイトの楽天市場を運営する楽天株式会社出身です。事業承継直後にEC事業を開始し、2021年度のEC売上は1.5億円まで急成長。そのプロセスで従業員数も2名から30名へ。地元立川に雇用を生み出し、仲間と共に自分たちが届けるお菓子で全国を笑顔にしたいと考えております。

作り手の顔が見えづらいECで商売をするからこそ「人の手の温かさが伝わるお菓子づくり」を意識し、誰が食べても「このお菓子は他と少し違うぞ?」と認識されるレベルの余韻を残す事に全力を注いでいます。

また、『新しいお菓子屋さんのかたち』を実現すべく、従業員の9割を占める女性が活躍できる職場環境を整えるための試行錯誤を日々続けております。



会社概要

代表取締役	遠山 大樹
本社所在地	〒190-0034 東京都立川市西砂町1-36-11
業務内容	洋菓子の製造・販売
資本金	300万円
沿革	創業 平成3年
主な販売・受注先	楽天市場、Yahoo!ショッピング、Shopify、店頭販売
従業員数	正社員：4名（パート・アルバイト：26名） 平均年齢：32歳

連絡先

担当者	遠山 大樹
URL	https://www.rakuten.co.jp/bonheur7
E-mail	toyama@premiere-7.com
TEL / FAX	042-531-4835 / 042-531-4835

多摩ブルー・グリーン倶楽部紹介

～受賞企業の「企業力」の集結が「たまの力」となる～

多摩ブルー・グリーン倶楽部は、受賞企業と選考委員、後援団体による組織です。受賞企業の経営課題の解決と相互連携および地域経済の振興を目的に設立され、例会や情報交換を通じて会員相互の連携を深めています。

多摩ブルー・グリーン倶楽部概要

目的	<ul style="list-style-type: none">■ 多摩ブルー・グリーン賞受賞者の相互連携による経営課題の解決■ 地域中小企業の活性化と、経済の振興のための地域貢献■ 地域企業としての社会的使命の遂行
事業活動 (主な活動等)	本倶楽部は、目的を達成するために次の事業を行います。 <ul style="list-style-type: none">■ 多摩ブルー・グリーン賞受賞企業の相互連携による経営課題の解決のための事業■ 地域中小企業活性化のための企画立案、および経済の振興のための地域貢献事業■ その他地域経済振興に関する諸事業
構成員	多摩ブルー・グリーン賞の最優秀賞・優秀賞・多摩みらい賞または特別賞の受賞企業と、選考委員、支援機関、多摩地域の行政機関(2021年度企業会員数160先)

2021年度の主な活動

第30回 例会 | 開催日:2021年4月14日(水)

第一部:基調講演

講演 コロナ禍におけるリーダーシップ サステナブルな経営を目指して ～変化への対応力強化～

三菱電機株式会社 特別顧問・一般社団法人日本経済団体連合会 副会長
山西 健一郎氏

コロナ禍でデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進力が生まれ、「日本発DX」実現には「協創」が鍵になります。部門や業種などの垣根をなくして「社会課題解決」という点から発想することで、課題解決と経済成長とを両立させながら実現できます。経営者にはこの世に存在する不条理を理解し、受け入れる力も必要になり、柔軟に変化し続けていくことがサステナブルな経営につながると説明されました。



第一部:パネルディスカッション

講演 コロナ禍におけるリーダーシップ

三菱電機株式会社 特別顧問・一般社団法人日本経済団体連合会 副会長
山西 健一郎氏
多摩冶金株式会社 取締役副社長 山田 真輔氏
株式会社セキコーポレーション 代表取締役社長 山木 孝之氏
東成エレクトロビーム株式会社 代表取締役社長 上野 邦香氏

コロナ禍に限らず事業継承時の抵抗勢力やSDGsに関する「成長戦略」など、経営者にとってヒントとなるお話が聞ける大変有意義なパネルディスカッションでした。



第二部:第18回多摩ブルー・グリーン賞最優秀賞企業2社によるプレゼンテーション

第5世代通信機器試験用シールドボックスと アンテナカプラ

森田テック株式会社 代表取締役社長 森田 治氏

第5世代通信(5G)機器の検査にて、距離をできるだけ近く、スマホ機器と密着させた状態で電波測定できるアンテナカプラの研究・開発についてお話しいただきました。



クロスボーダーな3Dインフラを提供し、人を中心とした持続可能な社会を実現する

株式会社VRC 代表取締役 謝 英弟氏

NTTドコモ「ポケットアバター」、KDDIのバーチャルイベント「MugenLabo2020」などで使用されている、人体データを実寸大で採寸し簡単にバーチャルアバターを作る3Dインフラ技術についてお話しいただきました。



[2021年度事業テーマ 1.相互理解・事業連携 2.人材マネジメント 3.社会貢献]

事業1 経営者向けセミナー

「マーケティングDX」「イノベーション」「ガバナンス」の各テーマについて、外部機関との連携によるセミナーを実施しました。希望者には、プログラム実施後に外部機関の協力によるアフターフォローを行い、自社の事業に活用できるよう支援しました。

実施日
2021年6月3日(木)、
7月2日(金)、
9月29日(水)
参加会員
延べ30社(37名)

事業3 次世代ネットワーク構築プログラム

会員企業の従業員(2年目～5年目程度)向けに、「リーダーシップ」についての知識習得と参加者間のネットワーク形成を目的としたセミナーをオンラインにて実施しました。

実施日
2021年6月11日(金)、
6月25日(金)、
7月20日(火)
参加会員
7社(31名)

事業2 経営研究交流会

会員の経営課題の解決を図るため、多摩大学の知見・ネットワークを活用して、今後の新卒採用における「インターンシップ」のあり方についてワークショップ等を実施しました。

実施日
2021年7月8日(木)、
9月16日(木)、
11月18日(木)
参加会員
11社(14名)

事業4 多摩地区大学就職研究会「パネルディスカッション」

多摩地区大学の職員(キャリアセンター)の地域企業への理解向上と会員企業の採用機運の醸成を通じて、相互理解と協力関係の構築を図ることを目的に、「2021年卒就職活動の総括と2022年卒の動向について」をテーマにしたパネルディスカッションを実施しました。

実施日
2021年
10月29日(金)
参加会員
19社(20名)



主 催

多摩信用金庫

後 援

経済産業省関東経済産業局、厚生労働省東京労働局、(独)中小企業基盤整備機構 関東本部、東京都、(地独)東京都立産業技術研究センター、(公財)東京都中小企業振興公社、(公財)東京しごと財団

八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町、相模原市

八王子商工会議所、武蔵野商工会議所、青梅商工会議所、立川商工会議所、むさし府中商工会議所、町田商工会議所、多摩商工会議所、相模原商工会議所

東京都商工会連合会、三鷹商工会、国分寺市商工会、日野市商工会、清瀬商工会、小平商工会、小金井市商工会、西東京商工会、狛江市商工会、調布市商工会、福生市商工会、東久留米市商工会、東村山市商工会、国立市商工会、あきる野商工会、東大和市商工会、武蔵村山市商工会、稲城市商工会、羽村市商工会、瑞穂町商工会、昭島市商工会、日の出町商工会

(一社)首都圏産業活性化協会、(一社)東京都信用金庫協会、(一社)東京都中小企業診断士協会三多摩支部、(公社)日本フィランソロピー協会、(株)キャンパスクリエイト、サイバーシルクロード八王子、タマティーエルオー(株)、東京中小企業投資育成(株)、農工大ティー・エル・オー(株)、(株)まちづくり三鷹、信金中央金庫、信金キャピタル(株)、日本弁理士会関東会、(株)日立製作所 テクノロジーイノベーション統括本部

国立大学法人電気通信大学、国立東京工業高等専門学校、明星大学、東京都立大学、多摩大学、東京経済大学、工学院大学、日本工学院八王子専門学校

産経新聞多摩支局、時事通信社立川支局、日刊工業新聞社、日本経済新聞社多摩支局、毎日新聞多摩総局、読売新聞東京本社、朝日新聞立川支局、東京新聞立川支局

[順不同]

多摩ブルー・グリーン賞事務局

〒190-8681 東京都立川市緑町3-4 多摩信用金庫 価値創造事業部内
TEL:042-526-7728(平日9:00~17:00)